

## 知の市場の概要

—理念と実践—

(2010年度前期版)

### 1. 理念と運営

「知の市場(FMW: Free Market of・by・for Wisdom)」は、「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社学連携」を旗印として実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して、人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場とし、理念と基本方針を共有して協働する受講者、講師、友の会、開講機関、連携機関、連携学会、知の市場事務局などのそれぞれの活動によって構築する。

「知の市場」は、自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が立場を越えて自律的な判断により自立的に自ら活動する場(Voluntary Open Network Multiversity)である。2004年度に「化学・生物総合管理の再教育講座」として開講して以来、総合的かつ実践的な学習の機会を提供し、全国から大きな反響を得るとともに、開講機関や連携機関との協力関係を構築しつつ講師や応募者の人の輪を形成してきた。政府や大学からの資金提供などを求めず自主的かつ自発的な教育活動であることを鮮明に掲げた2009年度以降、さらに視野を拡大して全国に新たに展開している。

「知の市場」は、大きな時代の潮流を先導し、学生や院生に対する学校教育と社会人教育を切れ目なく連結し、さらにプロ人材の育成と高度な教養教育を相互に補完しあうものとして接合することを目指している。加えて社会の全ての人々や組織が何らかの形で教育に関わり全員野球の中で各々の役割を果たして教育を支えていく、そして教育の世界と現実の世界が互いに重なり合いながら高めあっていく真の教育立国を求めている。津々浦々で諸々のことを担う社会の現場の全てが教育の現場としてもそれぞれ多彩な輝きを放つ社会の構築に向かって道を切り開いていくことが知の市場の課題である。

それぞれの機関や個人の自発的な参画と自主的な活動を基本に据えた運営の方針の下、知の市場の理念・基本方針や運営体制などを公開し、諸規定やツール集・マニュアル、受講修了証などの諸様式、「知の市場」のロゴマークなどの統一と標準化そして参画機関のホームページの相互リンクなどにより協働の基盤を整備し、相互扶助と相互検証を通して連携の強化と教育水準の維持向上を図っている。

「知の市場」は、総合的な学習機会の提供、実践的な学習機会の提供、十分な情報提供と受講者の自己責任による自由な科目選択、大学・大学院に準拠した厳しい成績評価という4つの教育の基本方針の下で活動する。そして、連携機関の協力を得て開講機関が主催して開講する共催講座と、共催講座での経験などを活かした活動、開講機関や連携機関が実施する活動、自己研鑽と自己実現に資する活動などであって「知の市場」の理念を共有する活動である関連講座で構成している。

### 2. 2010年度の実績と2011年度の計画

共催講座は化学物質総合経営、生物総合経営、コミュニケーション、総合(医療・保健、労働、食・農、鉱工業製品・医薬品、環境)、社会技術革新の5つの大分類で構成し、2010年度は東京以外の4拠点を含む16拠点で前期16科目、前後期合計37科目(1科目は2時間授業15回分で2単位相当)を開講した。2011年度は大分類に地域を加えて6つの大分類とし、東京以外の7拠点を含む14拠点で40科目を開講する。

関連講座は教養編、専門編、研修編、大学・大学院編からなり、2010年度は東京以外の5拠点を含む16拠点で66科目相当を開講した。2011年度は、東京以外の7拠点を含む16拠点で69科目相当を開講する。

全体で2010年度は全国32拠点で103科目相当を開講した。2011年度は全国30拠点で109科目相当を開講する。このうち2011年度の新規開講科目は合計21科目にのぼる。

講師陣として2010年度は、産業界・業界団体、行政機関、専門機関・研究機関、医療機関、大学・学協会などから様々な実務経験を豊富に有する専門家529名が参画した。2004～2008年度と比較して専門機関や大学・学協会に所属する講師が増加した2009年度と同様の傾向であった。2011年度は341名の講師陣が参画する。

応募動機を精査し適切と判断した応募者については、申込み受付順の早い者を優先として教室の収容人員の範囲内で受講を受理した。2010年前期は、応募者は2,619名、受講者は2,615名、修了者数は1,432名で1科目当たりでは応募者53名、受講者53名で、修了者29名である。

表 2010年度(前期)の開講状況

	科目数	応募者		受講者		修了者	
		計	科目あたり	計	科目あたり	計	科目あたり
共催講座	16	474	30	470	29	262	16
関連講座	33(51科目相当)	2145	65	2145	65	1170	35
総計	49(67科目相当)	2619	53	2615	53	1432	29

### 3. 2009年度と2010年度前期の共催講座の実績の比較

2010年度前期の共催講座の応募者の内訳を2009年度の共催講座(2010年度共催講座に入っていない名古屋市立大学を比較の整合性を確保するために除く)と比較して解析した結果は次のとおりであった。

- 1) 年齢構成は20～50歳代の現役世代が3/4強であり、2009年度と類似しているが若干増加した。
- 2) 共催講座の男女比は2009年度は男性が2/3、女性が1/3であったのに対し、男性が3/4、女性が1/4となり、男性の比率が増加した。
- 3) 応募者の居住地域については、2009年度は近畿圏が3%だったのに対し、2010年度前期は近畿圏が13%、中京圏が1%、中国圏が5%となり、関東圏以外が激増し約20%となった。これは知の市場の共催講座が全国展開し東京以外での開講拠点が増えたことに伴う変化である。
- 4) 職業別に見ると2009年度とほぼ類似しており、社会の広範な分野の者が参加している。
- 5) 新規の応募者と過去に受講したことのある応募者では新規受講者の比率が61%と増加している。継続受講者がこれまで通り多い一方で、新規の開講機関が全国で増えたことなどが新規の受講者の増加につながり、知の市場が新たな広がりを増していることを示している。
- 6) 講座を知った情報源については、メールとホームページの合計で68%と過半を超え、電子媒体による情報が主流を占める傾向は継続しているほか、上司あるいは教育部門の指示による応募が2009年度の6%から2010年度前期には16%に増加している。これは知の市場が有効な教育や研修の機会として認められ社会で活用が進んでいることを示している。

### 4. 今後の課題

「知の市場」は今後も恒常的な教育内容の向上に努める。また、開講分野を拡大し連携機関の拡充を図って、現代社会と世界動向を理解するために必要なより広範で総合的な自己研鑽の機会を提供する。また、開講機関の拡充を図って全国展開をさらに進め、自己研鑽の機会の日常化と普遍化を推進していく。

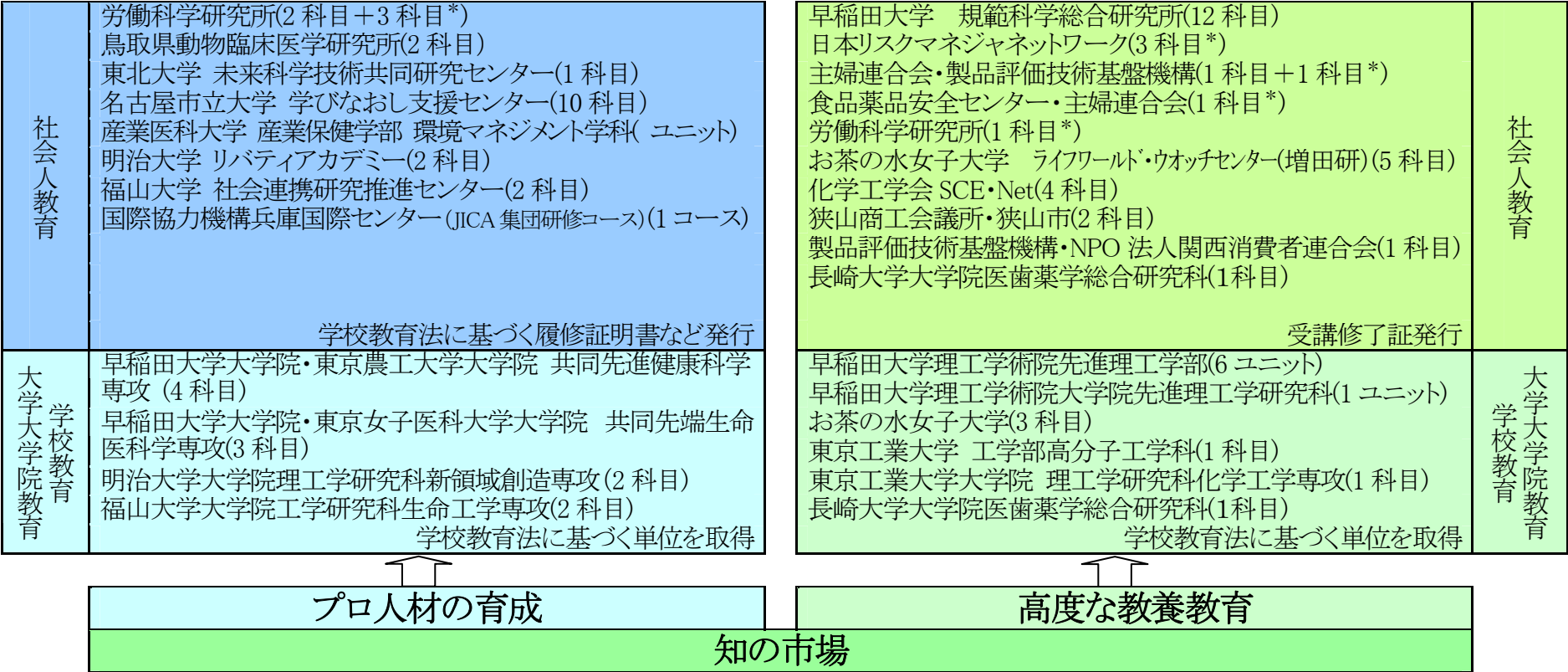
# 知の市場

「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として  
 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して  
 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場

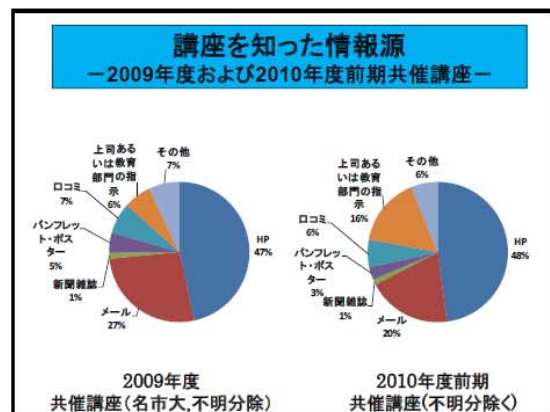
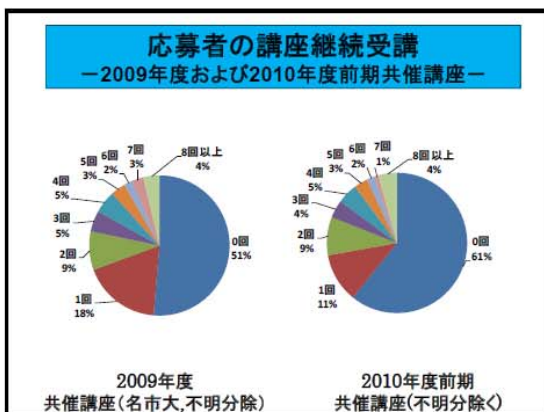
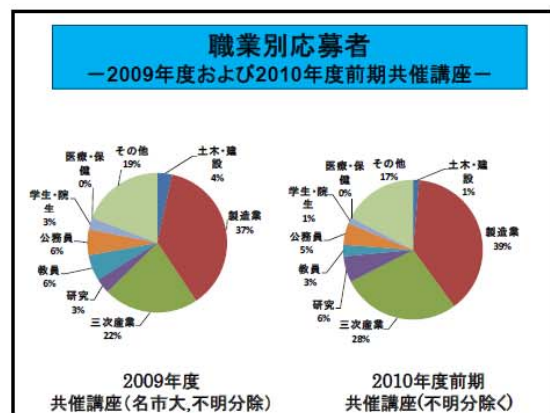
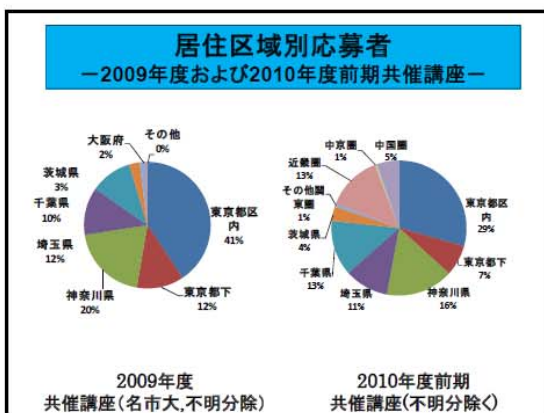
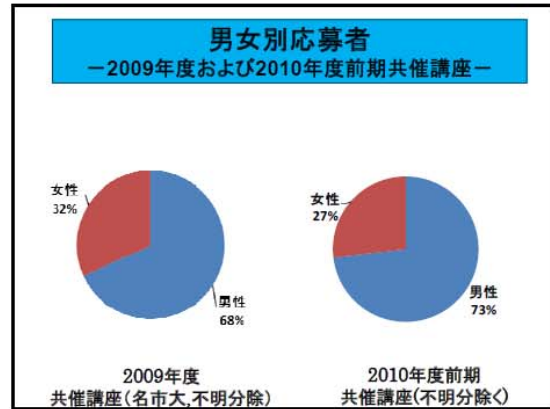
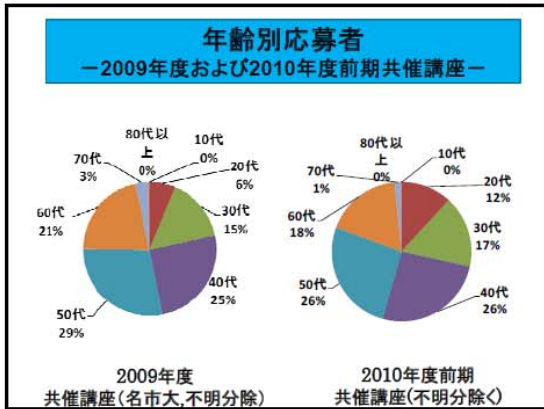
	友の会	連携学会	協力者・協力機関	協議会	知の市場事務局	評価委員会
共 催 講 座		早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前)		
		日本リスクマネジメントネットワーク 早稲田大学 規範科学総合研究所		大阪府環境農林水産総合研究所(JR森ノ宮駅)		
		主婦連合会 製品評価技術基盤機構 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前)		
		食品薬品安全センター 主婦連合会 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前)		
		労働科学研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前)		
		労働科学研究所		労働科学研究所(川崎市、小田急向ヶ丘遊園駅から徒歩)		
		お茶の水女子大学 ライフワールト・ウォッチセンター(増田研究室)		お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)		
		化学工学会SCE・Net		お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)		
		鳥取県動物臨床医学研究所		鳥取県動物臨床医学研究所(JR倉吉駅)		
		狭山市商工会議所 狭山市		狭山市産業労働センター(西武新宿線狭山市駅)		
		製品評価技術基盤機構 NPO法人関西消費者連合会		関西：八尾市立くらし学習館(婦人会館、近鉄 八尾駅)		
		主婦連合会 製品評価技術基盤機構		主婦会館プラザエフ(JR中央線四ッ谷駅前)		
		東北大学未来科学技術共同研究センター		東北大学未来科学技術共同センター(JR仙台駅から徒歩)		
		放射線医学総合研究所		稲毛サティ4階会議室(JR 稲毛駅)		
		(産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科)		産業医科大学(北九州市 JR折尾駅から徒歩)		(科目：関連講座として開講。所定の1科目相当の修了者を共催講座修了者として認定)
	I. 教養編		名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ		名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋地下鉄桜山駅前)	
		名古屋市立大学学びなおし支援センター		名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋地下鉄桜山駅前)		
		産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科		産業医科大学(北九州市 JR折尾駅から徒歩)		
		明治大学 大学院理工学研究科新領域創造専攻 安全学研究所 リパティアカデミー		明治大学駿河台校舎リパティアタワー(JR御茶ノ水駅)		
		福山大学 社会連携研究推進センター		福山大学 宮地茂記念館(JR福山駅前)		
II. 専門編		長崎大学大学院医歯薬学総合研究科		長崎大学医学部原爆後障害医療研究施設		
		国際協力機構兵庫国際センター(JICA集団研修コース)： 環境安全のための化学物質のリスク管理と残留分析		JICA兵庫他、各地		
III. 研修編		早稲田大学 理工学術院 先進理工学部				5ユニット開講
		早稲田大学 理工学術院 大学院先進理工学研究科				1ユニット開講
		早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻				4科目開講
		早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医学専攻				3科目開講
		明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻				2科目開講
		お茶の水女子大学				3科目開講
		福山大学大学院 工学研究科生命工学専攻				2科目開講
		東京工業大学 工学部 高分子工学科				1科目開講
		東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻				1科目開講
		長崎大学大学院医歯薬学総合研究科				1科目開講
IV. 大学・ 大学院編						

# 知の市場の構造

## — 講座の位置付け —



\* 早稲田大学規範科学総合研究所との共催科目



		科目数	応募者	受講者	修了者	備考
全体	合計	49	2619	2615	1432	
	科目あたり	49	53	53	29	

講座別内訳

		科目数	応募者	受講者	修了者	備考
合計	共催講座	16	474	470	262	
	関連講座	33	2145	2145	1170	
科目あたり	共催講座	16	30	29	16	
	関連講座	33	65	65	35	

開講機関別内訳

		科目数	応募者	受講者	修了者	備考	
共催講座	早稲田大学 規範科学総合研究所	4	100	99	44		
	日本リスクマネジャネットワーク	1	14	14	9		
	早稲田大学 規範科学総合研究所	1	38	38	29		
	ナノテク/ビジネス推進協議会	1	15	15	9		
	労働科学研究所	3	40	38	30		
	早稲田大学 規範科学総合研究所	2	67	67	45		
	東京工業大学 社会人教育院	1	39	39	20		
	お茶の水女子大学LWWC(増田研究室)	1	69	68	48		
	物質・材料研究機構	1	35	35	28		
	鳥取県動物臨床医学研究所	1	57	57	0		
	製品評価技術基盤機構	1	57	57	0		
	関西消費者連合会	16	474	470	262		
	東北大学未来科学技術共同研究センター	16	474	470	262		
前期合計	16	474	470	262			
関連講座	教養編	名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ	2ユニット	178	178	140	
	専門編	名古屋市立大学 学びなおし支援センター	10科目	990	990	171	
		産業医科大学産業保健学部 環境マネジメント学科	1ユニット	4	4	0	
		明治大学	1科目	69	69	69	
	研修編	福山大学 社会連携研究推進センター	2科目	0	0	0	
		国際協力機構兵庫国際センター	1コース(19科目相当)	7	7	0	
		早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	5ユニット	648	648	582	
		早稲田大学大学院・東京農工大学大学院共同先進健康科学専攻	1科目	16	16	8	
	大学・大学院編	早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院共同先端生命医学専攻	1科目	1	1	1	
		明治大学大学院理工学研究科 新領域創造専攻	2科目	22	60	21	
		お茶の水女子大学	1科目、1ユニット	152	152	128	
		お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	1科目	3	3	3	
		東京工業大学工学部 高分子工学科	1科目	33	33	29	
		東京工業大学大学院理工学研究科 化学工学専攻	1科目	22	22	18	
		福山大学大学院 工学研究科生命工学専攻	2科目	0	0	0	
		前期合計	33	2145	2145	1170	

開講機関別内訳(科目あたり)

		科目数	応募者	受講者	修了者	備考	
共催講座	早稲田大学 規範科学総合研究所	4	25	25	11		
	日本リスクマネジャネットワーク	1	14	14	9		
	早稲田大学 規範科学総合研究所	1	38	38	29		
	ナノテク/ビジネス推進協議会	1	15	15	9		
	労働科学研究所	3	13	13	10		
	早稲田大学 規範科学総合研究所	2	34	34	23		
	東京工業大学 社会人教育院	1	39	39	20		
	お茶の水女子大学LWWC(増田研究室)	1	69	68	48		
	物質・材料研究機構	1	35	35	28		
	鳥取県動物臨床医学研究所	1	57	57	0		
	製品評価技術基盤機構	1	57	57	0		
	関西消費者連合会	16	30	29	16		
	前期合計	16	30	29	16		
関連講座	教養編	名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ	2ユニット	89	89	70	
	専門編	名古屋市立大学 学びなおし支援センター	10科目	99	99	17	
		産業医科大学産業保健学部 環境マネジメント学科	1ユニット	4	4	0	
		明治大学	1科目	69	69	69	
	研修編	福山大学 社会連携研究推進センター	2科目	0	0	0	
		国際協力機構兵庫国際センター	1コース(19科目相当)	7	7	0	
		早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	5ユニット	130	130	116	
		早稲田大学大学院・東京農工大学大学院共同先進健康科学専攻	1科目	16	16	8	
	大学・大学院編	早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院共同先端生命医学専攻	1科目	1	1	1	
		明治大学大学院理工学研究科 新領域創造専攻	2科目	11	30	11	
		お茶の水女子大学	1科目、1ユニット	76	76	64	
		お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	1科目	3	3	3	
		東京工業大学工学部 高分子工学科	1科目	33	33	29	
		東京工業大学大学院理工学研究科 化学工学専攻	1科目	22	22	18	
		福山大学大学院 工学研究科生命工学専攻	2科目	0	0	0	
		前期合計	33	65	65	35	